

◎特集

～新たな時代へのビジネス挑戦～

# 2010年の事業展望

第1部 解体工事

第2部 建設廃棄物処理

最新版!建機 & アタッチメント & 資機材の導入・開発事情

(上) アタッチメントの事例

[E-Conインタビュー]

安全と事故防止の協議会が信頼高める

㈱エイシン代表取締役社長・安全衛生協議会代表 米村和彦氏

## がれき類の収運業と処理業の協調で新機軸

◎増尾リサイクル(株)(東京都荒川区、増尾光彦社長)、  
㈱黒姫(東京都足立区、渡辺明彦社長)

砕石等の土木資材の知見が深く、再生骨材の事業構想も持つ増尾リサイクル(株)と、がれき類の収集運搬で首都圏トップクラスの実績を持つ㈱黒姫。比重の重いコンクリート塊は広域移動が難しく、地域性の高い事業だ。廃材は建築・土木の解体時に発生するため、廃材調達の営業拡大には限界がある。有力な中間処理業と収集運搬業が協調すると、廃材のロット、着実な資源化の双方で事業の安定化が図れる。(株)黒姫はFゲート

ダンプの積極導入や再生砕石のカーボンオフセット、増尾リサイクル(株)は鑄物砂の再生砂利用、再生砕石のCO<sub>2</sub>吸着効果の研究等に取り組んでいる。



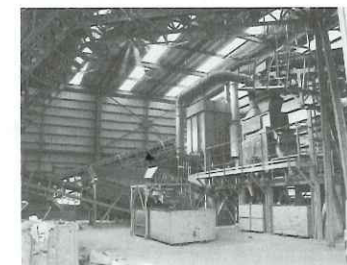
④廃材のストックヤード  
⑤大塊を積んだFゲートダンプ

## 電子化推進、処理費下げられる排出方法の提案

◎㈱ニシノ産業(茨城県茨城町、西野正社長)

笠間市内の中間処理施設「オーリーブリーフ.L」は敷地内にオリーブ等を植えて緑地を整備し、全天候型の施設は界面活性剤のミスト噴霧で粉じんがほとんど舞わない。破碎・選別や石膏ボード、減容機等を備える。外部見学者は屋上近くの専用ルームから屋内全体を視察できる。全体の6割を占める住宅系等の新築建廃のほか、工場、事業所系の産廃も扱っている。電子マニフェストの導入に積極的で、顧客の4割が採用し、事務処理全般に電子化が浸透している。

値下げ営業は一切行わず、収運のドライバーが顧客に処理費を抑えられる排出方法



オーリーブリーフ.Lの場内

等を提案している。営業も現場に足を運ぶが、直に廃棄物を受けるのは運転手なので、セールスドライバーの意識を徹底的に植え付けている。サービスの向上を重視し、搬入車両のシートを従業員がたたんであげたり、ていねいな言葉づかいを心がけるなど、目に見えない部分にも配慮している。